

寸 洞

THE GIFU UNIVERSITY LIBRARY BULLETIN

第12号 1994.2

目 次

密と粗と（菅原光穂）	1	わが附属図書館の自己点検に向けて（続）	6
館蔵資料紹介		1994年度 購入雑誌変更リスト	14
昆虫関係の貴重な図鑑・書籍（武田 享）	3	図書館員から一言 宮崎直昭	16
教官推薦図書		加藤妙子	16
匠の時代（檜和田宗彦）	5	お知らせ	16
銭湯に行こう・イスラム編（飯島みどり）	5		

密 と 粗 と

— ニューヨーク公立図書館を訪ねて —

菅 原 光 穂

磨き上げられた大理石の床を一步一步、京都の知恩院の山門の石段を想わせるような高い段を3階の閲覧室まで登ると、大理石であるが故に余計重力がこの身に働くのではないかと恨みの一つも言いたくなるほど足が張り、心臓が鳴る。喘ぎながら、3階の大天井とその壁画が見えるところまで来ると、建物の持つ荘厳な雰囲気を押されて、何か心に張りつめたものを感じる。

1911年に建設されたこのニューヨーク公立図書館は、蔵書数1,000万冊、諸資料は約20億点になるという。ニューヨーク市内に81の分館を持つが、本館はマンハッタン5番街42丁目の観光客が往来する町の中心部に位置する。マンハッタンの建物としては珍らしく3階建と低い。しかし、巨大なエンタシスを正面に配した建物は、むしろ高さを押さえたことで堂々とした構えとなり見る人々を圧する。内部は総大理石作りで、1階は10米ほどもある高い天井のため夏でもひんやりとした一種冷たい感じを漂わせている。入口の大きな回転ドアを押して中へ入ると、そこは大ホールで、広いホールの中には退館者の手荷物を検査する守衛氏一人の他係員は誰も居ない。そのホールの左右両端には、円形アーチを模した大理石の2本の柱があってその中に閲覧室へ通じる階段がある。その階段の途中から玄関大ホールを見降ろす構図は、

様々な絵や観光写真でなじみのあるもので、素人ながら小生もそれを真似て一枚シャッターを押してみた。（写真）。大ホールの右奥には観光客のインフォメーション・デスクと土産品売場がある。

僅か1ヶ月の滞在であったので、図書館のすべてを知ることとは出来ない。もっとも知ろうとする余裕もなかった。このニューヨーク公立図書館は、ノア・ウェブスターに関する相当量の資料、特に1783年から1843年までの直筆の全書翰、アメリカン・ディクショナリーの出版をめぐる諸資料、さらにウェブスターの出版社となったメリアム社とウースターの「ユニバーサル大辞典」を出版したヒリアード・グレイ社との「辞書戦争」に関わる興味ある雑誌・新聞等の記事など、到底1ヶ月では調べ切れない程のものがあったからである。

いずれの図書館においてもそうだが、所蔵資料の種類、内容はもちろん、図書館内の所蔵場所、借りだし手続き、閲覧の方法、コピーの取り方、返却方法、予約の仕方などまず知らねばならぬことが多い。大英博物館にある英国図書館では、リーダーズ・パスを発行して貰う手続き（日本から本人の身分を証明する顔写真付きの推せん状の類を持参する）が必要であった。この場合は、しかし、事前に文書で利用許可願いを提出してあ

たので、3階312室での許可願はすぐ受理された。ただこの手続きは18世紀前半以前の貴重本および資料を借りだす者にのみ必要なもので、それ以降の出版物については、利用許可なしに自由に借りだすことができる。

大変興味を覚えたのは、特別閲覧室で利用する貴重資料とそうではない資料の取り扱いである。貴重資料の閲覧はすべて特別閲覧室でのみ許可されるのであるが、この部屋への入り方と閲覧方法は日本では体験したことのないものであった。マイクロフィルム・リーダー室の奥まった所が特別閲覧室であるのは理解したが、どうしても中へ入れない。ドアが開かないのである。ガラス越しに部屋の中を覗くと、カウンターがありその中に係員が二、三人仕事をしているのが見えた。しかしその誰もこちらを見てくれない。うろろろすること十数分、そこへやって来た利用者に尋ねて漸くわ

かった。実は、ドアの左方にある壁の隅に小さなボタンがあった。そのボタンを押すと室内の係員のカウンターに合図が届き、ドアのロックを解除してくれるという仕掛けである。解って見ると馬鹿々しい。しかし、「はてな？」という思いが残る。

まずは入ることが出来た。さて次なる手続きは、カウンターに備えつけの利用者カードへの記入である。利用したい資料の記入は当然として、解らないのは利用目的の記入である。「△△のため」程度なら、資料の利用のされ方という事で図書館側の調査事項となろうが、ここでの記入項目は詳細を極めている。

利用資料の目的が論文を書くためか、書籍を発行するためから始まり、その題名、ページ数、定期刊行物名、出版年次、出版社と、そして念の入ったことに、その論文（又は著書）のどの部分に利用するものか、と問われる。こちらは未だ執筆計画中であり、手元資料のチェックであるから何とも書きようがない。しかし、未来形である旨を記して、推測も含めてなんとか記入する。しかし、これが毎日毎日のことであるから、仕舞にはその「予定」が過去の事実のように思えてくるから不思議である。私は一冊を出版したつもりになった。

愈々、ウェブスターのアメリカン・ディクショナリー（1841年）を借りる手筈を整えた。この1841年版は、1828年版の売行き不振を挽回するためにノア・ウェブス

ター自身が改訂したものであるが、借り受けて見て驚いた。実は、この1841版にはノアの娘婿で後にイエール大学の総長をやるグッドリッチ教授の書き込みが入っているのである。グッドリッチ教授はこの書き込みを終えて、大改訂版を1847年に出すことになるのだが、実はそのためのものであった。それを知った時は、どうにも手が振えて止まらなかった。

さらに忘れ難いのは図書館員（ライブラリアン）の本の扱い方であった。どの本も、この閲覧室では、書庫からカウンターまでは係員が運搬してくるが、カウンターからはライブラリアンが権威をもって取り扱うのである。望む辞書らしきものがカウンターに届いたので受取りに行くと、「ダメだ。自分の机に座っている」という。はてなと思い乍らそのようにすると、彼のライブラリアン

は、辞書ではなく奇妙な箱形の道具をまず持って来た。一組のその箱型とそれと一緒に届いた鎖をビニールで包んだようなものの用途を理解するのにやや時間を要した。書見台とペーパーウェイトである。書見台は辞書が180度には開けないように、左右の両側がやや高く中程が低くなるようなもので、又ペーパーウェイトはページを開いた時そのページが元へ戻らないように手で強く押しつけたりしないためのものである。手洗いなどに立つときは、必ず本を閉じてから立つようにという配慮もなされていた。至れり盡くせりである。

しかし、再び驚かされた。一般閲覧室でアメリカン・ディクショナリーの1864年版を借り受けたときである。表紙はとれ、中の酸性紙は触

れただけでも切れて了う程の痛みようであった。そのためか、1700頁余の大冊をビニールの紐で乱雑に結え、カウンターの上にどさっと投げ置くのである。1864年版といえ、例の辞書戦争を終結させた程の左右両翼の集大成であり、ウェブスターの名を辞書の代名詞にまで高めたノア・ポーターの傑作なのである。私の知る限りでは、日本の大学では東大の附属図書館にしかないという代物である。資料の価値という点では1847年を上回るものであろう。しかし、それにも劣らぬ程のウェブスターのユニバーサルなどと共に閲覧室の自分の机であちこちから頁をめくり続けると、机の下が酸性紙の屑で一杯になった。係員は何も云わない。

（すがわら みつは：教養部教授）



館蔵資料紹介

昆虫関係の貴重な図鑑・書籍

— 今西文庫及び原文庫を中心として —

武 田 享

農学部的前身である岐阜高等農林学校は大正12（1923）年に創設されたため、明治中期以降に出版された貴重な昆虫学関係の書籍を所蔵している。加えて、1967年から6年間本学の学長を務められた今西錦司先生（1902－1992）寄贈の今西文庫が3階に、岐阜県出身の植物病理学者原 摂祐先生（1885－1962）寄贈の原文庫が1階に置かれている。これらのため、昆虫関係の貴重な書籍も少なくない。これらの中から数点を選んで紹介したい。

1. 昆虫図鑑

我が国で最初に今日の図鑑形式をとるものが出版されたのは、下記の2冊のみであり、極めて貴重なものである。両書とも本学で所蔵している。

- 『日本昆虫大図鑑』初版（写真1）… 集密書庫と今西文庫

北海道大学教授松村松年先生（1872－1960）が13人の門下生の協力をえて1931（昭和6）年刀江書院（東京）より出版されたもので、1688頁の大著である。松村先生は明治28～昭和9（1895－1934）年北海道大学で昆虫学を講じておられた。

今西先生に贈呈された「日本昆虫大図鑑」の〈見返し〉に“杲自然界 松村松年”というサインが見られる（写真2）。‘杲’は‘太陽がこうこうと輝いている、明るい光がさんさんと輝いている’という意味があるといわれる。

カゲロウ類を研究しておられた（後



（写真1）



（写真2）

述）今西先生は、松村先生から寄贈された本図鑑中のカゲロウの40種について、学名、記載等をチェックしておられ、正しいものには直径5 cm程の丸を、誤っているものには×を打ち、学名を訂正しておられる。

九州大学農学部昆虫学研究室・日本野生生物研究センター共同編集の「日本産昆虫総目録」（1989）によれば、1940年までに我が国で確認されたカゲロウ類は86種で、今西先生が28種、松村先生が20種を記載しておられるから、両先生で60％近くを記載しておられることになる。

- 『日本昆虫図鑑』初版（写真3）… 集密書庫
内田清之助先生他25人の昆虫学者が分担執筆し、

1932（昭和7）年北隆館（東京）から出版された2478頁という大著で、声価も高かったといわれる。1950（昭和25）年に改訂版が出版され、その後毎年改訂版が出版された。この図鑑では20～30人の専属の作画担当者の手

になっているが、その後作画担当者が得られなくなったためか、1960（昭和35）年の第17版が最終刊のものであることは残念である。なお、この第17版は生物生産システム学科生物制御学講座（昆虫学）に所蔵されている。

この図鑑には、初版から第17版まで、奥付に写真4に示すような頒布番号が記入されている。



（写真3）



（写真4）

2. 松村松年先生の著書・・・ともに原文庫

○ 「日本昆虫学」第5版 東京：裳華房，289頁
(1898) (写真5)

我が国最初の昆虫学テキストとして著名で、とくに昆虫和名の原点といわれる貴重なものである。対象となったのは208種の昆虫で、学名・和名、形態、生態などが簡潔に記載されている。翌1899年に再版，1900年には3版，4版と版を重ね，1907年までに10版が出版されており，当時のベストセラーともいえる。



(写真5)

○ 「日本害虫篇」第3版 東京：裳華房，536頁
(1900) (写真6)

初版は上，下2巻に分けて1899年出版され，翌年合本して出版された。本書では屋内害虫・衛生害虫を含む277種について，その形態，特徴，被害状況等を記述するとともに，264種については成虫，蛹，幼虫の形態や農作物の被害状況が図版で精密・詳細に記載されている。

本書の序文の前頁に写真7のような印と注意事項がある。

上記の2冊が中心になって『日本昆虫大図鑑』が上梓されたものとみることもできよう。



(写真6)



(写真7)

3. 松村先生と今西先生の接点(?)

前にもふれたように，松村先生は「日本昆虫大図鑑」の初版を今西先生に贈呈されたとみられ，表紙裏に「果自然界」というサインがあり，両先生の学問的関係に興味もたれる。今西先生の研究からその接点らしきものがうかがえる。

今西先生は1928(昭和3)年京都大学農学部(昆虫学研究室)を卒業され，1941(昭和16)年まで京都大学大津臨湖実験所講師(無給)として加茂川の水生昆虫カゲロウ類の生態を中心に研究を続けられた。1930～1941年の間に，我が国に生息する41種のカゲロウの生態を中心に，昆虫，台湾博物学会報，日本動物学会彙報に11編の英文論文として発表しておられる。これがいわゆる「すみわけ」の発見となり，〈今西理論〉の出発点となる貴重なものであった。松村先生がこれらの論文をご覧になっておられることは間違いなく，おそらくこれが一つの縁で図鑑を贈呈されたものと考えられる。

なお，松村先生は今西先生より30才年長であられることから，60才過ぎの大家が30才も年下の今西先生にこのような態度で接せられたことを知り，人間的にも大変立派な方と敬服した。

4. 原 摂祐先生(1885-1962)

一階の集密書庫に原文庫が設けられており，主に植物病理，昆虫関係の貴重な書籍が保存されている。原先生は岐阜県恵那郡川上村で出生され，岐阜県農学校，名和昆虫研究所，東京大学助手，静岡県農会を経て1930(昭和5)年郷里に戻られて農業会社に勤務された。1955(昭和30)年日本植物病理学会賞を受賞された。

原文庫には多くの貴重な書籍が所蔵されており，特に明治14～大正10(1881-1921)年まで東京大学にて昆虫学を講じておられ，昆虫学会の大御所的存在であられた佐々木忠次郎先生(1857-1938)から原先生宛のハガキ，松村先生のサイン(?)，等々が散見される。これらは貴重な資料とも考えられ，散逸することのないよう永く保存されることを期待したい。

(たけだ すすむ：農学部教授)

教官推薦図書

教官から、その専門分野を専攻しようとする学生に先ず薦めたい入門書・基本図書、あるいは、より多くの教官・学生に教養書として是非一読を薦めたい図書を紹介していただいています。

匠 の 時 代

檜和田 宗彦

「宗教はどこにでもある。ただし、教会にはない。」といったのはモーパッサン。それをもじって「真理はどこにでもある。ただし学界にはない。」と比喩った先生がいたが、その論法でいくと図書館にないのは何？

だいぶ以前に理学部の先生から、「工学は大学に馴染まない。」と揶揄されたことがあるが、最近になってようやくその意味に思い当たるようになった。科学は人間をも含んだ総合科学であるのに、工学や技術学には人間部分と対峙する内容をもつ分野がないか、あるいは不足しているという指摘ではなかったかと。

そんなこんなで、学生には自然科学、工学、機械工学に関連する安価な文庫本を150冊ばかり紹介し、最低2冊は読ませるようにしている。ここでは、その中から単に特定分野に興味をもたせるだけでなく、技術者の生き方についても情報提供のある書物、内橋克人著の「匠の時代」全12巻（講談社文庫：各巻500～560円）を推薦図書としたい。

現代日本の新製品や新技術は、レーザーメス、光

ファイバー、ファクシミリ、高機能性高分子材料、人工太陽、太陽電池、電卓、ワープロ、デジタル時計、コンピューター・トモグラフ等々、枚挙に暇がないほど、かつめまぐるしいペースで提供され続けている。これらはいづれ誰がどんな動機で開発を始めたのか、どんな経過を経て実際の製品になったのか、その原理はいつ頃発見されたのかなどは、技術畑をめざす人でなくとも興味あるところだろう。こんな疑問に回答を与えてくれ、「若い時には徹底的に理論をやり、厄介な分野に挑み、35才までに自分の持てる分野、専門については世界的なレベルに達するくらいの意気込みをもって生きてほしい。」など、技術者の生きざまの具体的事例までもがいたるところで紹介されている。

「一度しかない人生に自分なりの哲学をもって、いや創りながら、挫けても負けても失敗しても元気にめげずに生きていこうぜ!!」という先輩技術者達のメッセージが聞こえてきます。一度お好みの分野のものを手にとってみて頂けたら、推薦者としては望外の喜びです。

（ひわだ むねひこ：工学部助教授）

『銭湯へ行こう・イスラム編——お風呂のルーツを求めて』

飯島 みどり

中東を旅して印象的なのは水回りの工夫である。乾燥気候が卓越する風土にあって水のもつ貴重さは、我々の今日想像するところを遥かに越え、たとえばイスラエルによるパレスチナ占領の核心部分にも水争いが控えていることは指摘されて久しい。サハラ真只中に点在するテントを訪ねれば、何はともあれまず大ぶりの碗一杯の水を客人に振舞うのが最高のもてなしであるし、都市発生の地「肥沃な三日月地帯」では、精緻な計算を施された旧市街の上下水道が、辻々の水飲み場や滾々と白糸を紡ぎ出す噴水といった華を伴って、今も立派に都市生活を支え、行き交う者の心を和ませてくれる。その一端は中庭と噴水の組合せとなってイベリア半島に受け継がれ、さらに「新世界」のここかしこに移植された。

本書はそうした中東世界を特徴づける水回り文化に、ハンマーム（風呂／浴場）から接近を試みている。従ってその意図は大文字の歴史が見落としがちな「日常性」を社会史的手段で拾い上げることではなく、中東世界と大きく重なり合うイスラムの規範——清

潔は信仰の大前提——および現実、正攻法の斬り込みをかけることに在る。とはいえ標題の調子よろしく砕けた読み物に仕上がっており、冒頭から「トルコ風呂のはなし」で御開帳。総勢十名の中東研究者が聖典はもとより文学、旅行記、建築史、都市計画などの資料に実体験を織り混ぜつつ清と不浄の交錯する場、ハンマームの実態に迫る。

気軽に読める一冊だが巻末の索引に配慮が感じられる。欲を言えば建築用語にもう少し説明が欲しかった。またハンマームは都市生活の粋と位置づけられようが、では農村のハンマームは農村ゆえに流行らないのか。本書の生の親たるプロジェクト「イスラムの都市性」総合研究においては、物理的な都市ではなくイスラム・中東世界の人間の都市的な在り方が追究されているやに聞く。「農村」の扱い方にひとこと解説が加えられていれば、地域研究の野心的側面が一般読者によりよく伝わったであろう。

※八尾師 誠・編著 東京 TOTO出版 1993

（いいじま みどり：教養部講師）

わが附属図書館の自己点検に向けて（続）

— 図書館利用アンケート（大学・大学院生対象）結果 —

附属図書館自己評価検討委員会では、岐阜大学における教育・研究活動を支援する図書館としての機能を果たしていくために、前回実施の教官対象のアンケートに引き続き、今回、学生・大学院生を対象とした図書館利用アンケートを実施した。

ここに、アンケートの結果について報告します。

調査方法

調査期間 平成5年10月

対象者 全学生・大学院生（調査当日欠席者を除く）
5,022人

実施方法 配票回収法（即日）

有効回収数 3,209人（回収率63.9%）

回答者内訳

学部名	人数(人)	回収率(%)	回答者比率(%)
教育学部	804	78.7	25.1
医学部	227	64.3	7.1
工学部	1,003	61.2	31.3
農学部	318	38.6	9.9
教養部	658	70.8	20.5
医療技術短期大学部	132	82.5	4.1
工業短期大学部	67	70.5	2.1
計	3,209	63.9	100.0

— 質問と回答 —

1. 図書館をどのくらい利用していますか

1) 平均的な利用頻度について

最も多かったのは「月に2～3回」で31.2%，次いで「年に数回」24.4%，「週に1回またはそれ以上」19.2%，「1ヶ月1回ぐらい」18.0%であった。

なお、1ヶ月に1回以上の利用頻度を合計すると68.4%となり、10人の中およそ7人が図書館を月に1回以上利用していることが分かった。これを部局別にみると次のとおりである。

医短76.5% 教養76.3% 農学75.7%
医学65.7% 工学65.5% 教育65.4%
工短23.9% 全体68.4%

なお、工短については、夜間コースであることと、開館時間との関連が、低い数値の要因であると思われる。「ほとんど利用しない」が5.2%であった。

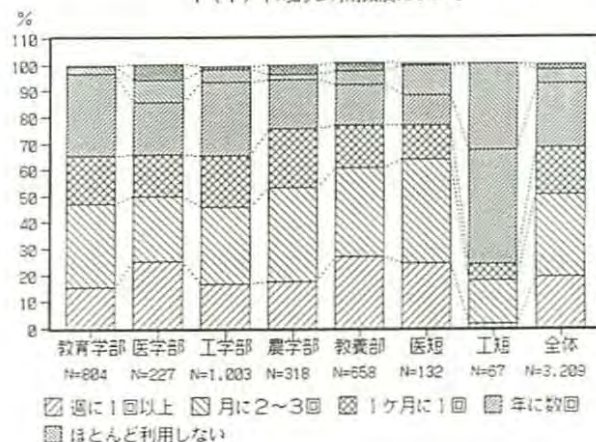
2) 特定時期に利用していますか（複数回答可）

前項では、年間を通しての平均的な利用を聞いたのに対して、ここでは、特定時期にどの程度図書館が利用されているかを聞いた。全体では、「試験期」が58.2%と最も高く、次いで「休講時」26.1%が割合高かった。「夏季休業期」10.2%，「春季休業期」4.4%と休業期の利用が低かった。

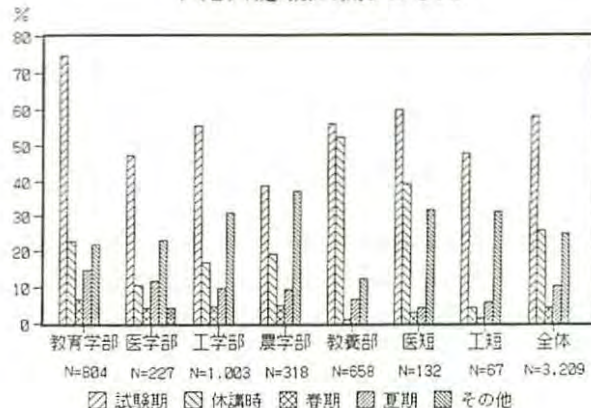
これらは、図書館月別入館者数統計における9月、2月の増加、および、8月、3月の減少のパターンと同じであることを示している。

次に、試験期と休講時を部局別にみると次のとおりである。

1 (1) 平均的な利用頻度について



1 (2) 特定時期に利用していますか



〈試験期〉

教育74.8% 医短59.8% 教養56.1% 工学55.5%
 工短47.8% 医学47.1% 農学38.7% 全体58.2%

〈休講時〉

教養52.3% 医短39.4% 教育23.1% 農学19.2%
 工学16.7% 医学10.6% 工短 4.5% 全体26.1%
 次に、「その他」が全体で25.1%であったが、レ
 ポート作成等課題に取りくんでの時期と推察できる。

2. どんな目的で図書館を利用しましたか（複数回答可）

最も高かったのは、「レポート作成」58.9%で、次いで「学習」55.7%、「貸出・返却」44.1%、「文献調査」32.6%、「文献複写」23.3%、「館内での読書」14.6%の順であった。他に、「特に目的なし」4.5%、「その他」3.1%であった。

これらを部局別にみると次のとおりである。

〈レポート作成〉

教育71.3% 医短63.3% 教養63.2% 工短58.2%
 工学56.3% 農学45.0% 医学30.8% 全体58.9%

〈学 習〉

教養61.4% 教育59.8% 医学55.5% 医短55.3%
 工学54.1% 農学44.0% 工短32.8% 全体55.7%

〈貸出・返却〉

教育60.6% 医短48.5% 工学44.3% 農学41.8%
 教養33.3% 医学26.4% 工短11.9% 全体44.1%

〈館内での読書〉

教養23.4% 工学14.4% 教育11.7% 医学11.6%
 医短 9.8% 医学 9.3% 工短 9.0% 全体14.6%

以上は、学生と院生との間に大きな変化がみられなかった。

「文献調査」では、農学部院生89.1%、医学部院生83.0%、工学部院生74.4%と高く、学生は、以下のとおりであった。

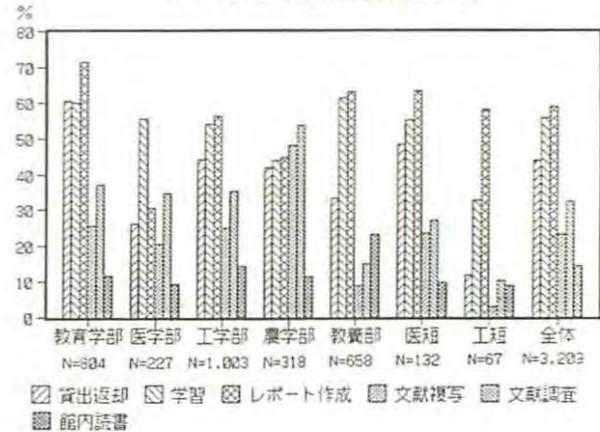
教育37.1% 医短27.3% 農学（学生）27.1%
 工学（学生）27.0% 医学（学生）22.2%
 教養15.0% 工短10.4% 全体32.6%

また、学年別でみると教養25.6~52.9%、医学部11.1~50.0%、工学部16.9~54.8%、農学部19.4~83.3%となり、学年が進行するにしたがって、文献調査を目的とした利用が増えているとみることができる。

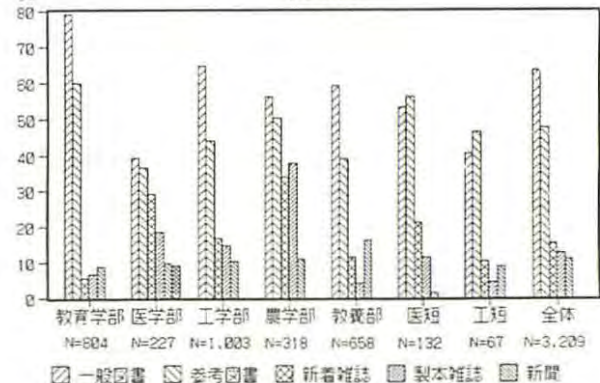
「文献複写」では、一部を除いて「文献調査」と同じ順位であった。これは、文献調査との関連性を示していると思われる。

3. 主にどんな資料を利用しましたか（複数回答可）

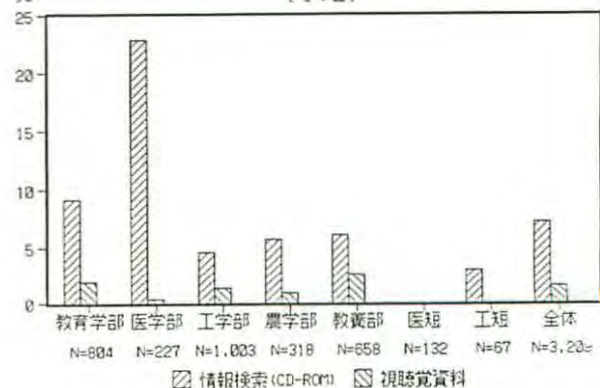
2 どんな目的で図書館を利用しましたか



3 主にどんな資料を利用しましたか (その1)



3 主にどんな資料を利用しましたか (その2)



「一般図書」が63.5%で最も高く、次いで「参考図書」47.6%と図書の利用率が高かった。次に「新着雑誌」15.4%、「製本雑誌」12.7%、「新聞」10.8%、「情報検索」7.2%、「視聴覚資料」1.6%と続いた。

「一般図書」「参考図書」ともに、教育学部が最も高く、79.0%、60.0%であった。

「新着雑誌」では、医学部院生80.9%、農学部院生59.9%、工学部院生37.8%と院生が高く、学生は、21.2~5.5%の間にとどまった。

「製本雑誌」では、農学部院生74.5%、医学部院生68.1%、工学部院生48.3%と院生が高く、学生は、11.4~4.0%の間にとどまった。新着雑誌、製本雑誌ともに自然科学系の学部の利用が高いのは、図書館に自然科学系の雑誌が集中配架されていることも要因と考えられる。

「新聞」では、教養部16.1%が最も高かった。

「情報検索」では、医学部院生が68.1%の高率に達したのは、分館でのCD-ROM等の充実度が大きく反映されていると思われる。これに対して、本館の最高が、工学部院生10.0%であったことは、本館のCD-ROMの不足が要因となったと考えられる。

「視聴覚資料」では、工学部2.8%から医学部0.4%と非常に低率であったのは、視聴覚資料の絶対数の不足が要因と思われ、資料の整備が急がれる。

4. いままでに図書館を利用して目的が達成できましたか(複数回答可)

ここでは、大きく図書、雑誌、情報検索の三つのグループに分け、それぞれ目的が達成できたかどうかを、3の利用目的との関連で聞いた。

1) 利用したい一般図書・参考図書はありましたか

ここでは、利用したい図書があったかどうかで、図書館の蔵書に対する大まかな満足度を聞いた。

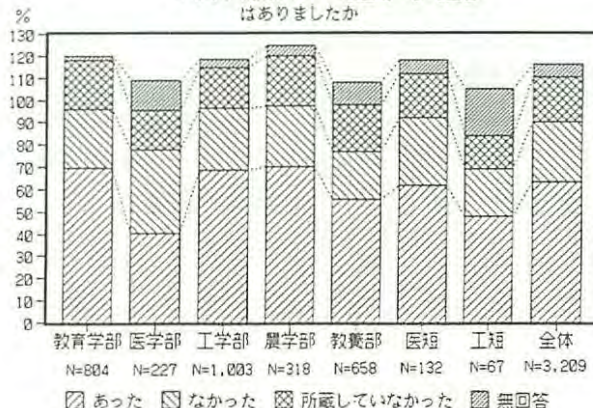
「あった」63.5%、「あったが古かった」26.7%、「所蔵していなかった」20.3%であった。図書を利用目的とした人10人の中、6人程度が満足し、3人程度が蔵書の古さにやや不満であり、2人が利用したい図書がなく不満であったことが読みとれる。蔵書の更新、整備の検討が望まれている。部局別では、「あった」が69.4~40.1%、「あったが古かった」37.4~20.9%、「所蔵していなかった」22.6~14.9%の間に位置づけられた。

2) 雑誌は簡単に見つかりましたか

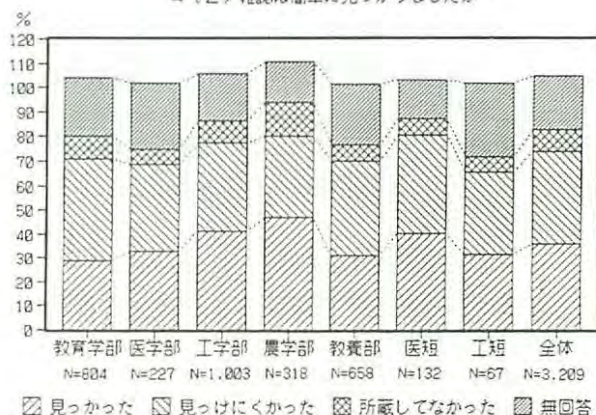
ここでは、雑誌の所蔵、配架について、大まかな満足度を聞いた。

「見つかった」35.7%より「見つけにくかった」

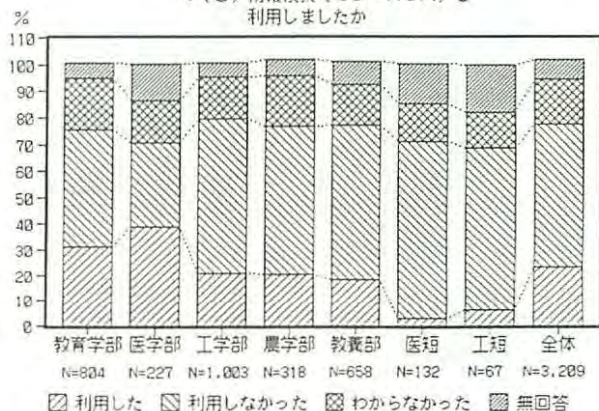
4(1) 利用したい一般図書・参考図書
はありましたか



4(2) 雑誌は簡単に見つかりましたか



4(3) 情報検索 (CD-ROM) を
利用しましたか



38.0%がやや上まわった。両方を合わせた73.7%から10人の中、約7人が利用したい雑誌があり見つけることができたが、その中の約4人は、見つけるのが容易でなかったと読みとれる。「所蔵していなかった」は、8.7%であり、10人の中、1人弱が所蔵していなかったことで不満足な結果となったと読みとれる。

3) 情報検索 (CD-ROM) を利用しましたか

「利用した」23.0%、「利用しなかった」53.4%、「操作方法がわからなかった」16.9%であった。10人の中、約2人が利用経験があり、約5人が利用経験がなく、約2人が操作方法がわからなかったと回答している。部局別にみると「利用した」では、医学部院生の87.2%が非常に高く、3. 情報検索 (CD-ROM) の関連性が表われていると思われる。次いで、教育学部31.1%、工学部院生28.3%が高かった。

4) 検索結果はどうでしたか

4. 3) で情報検索を利用したと回答した全体の23.0% (737人) の人に、検索結果の満足度について聞いた。「満足」9.8%、「まあまあ満足」64.5%、「満足しない」が24.8%であった。「満足」と「まあまあ満足」の合計は74.3% (547人) であるから、ある程度の満足度は持っているといえる。これを部局別にみると、医学部、農学部が80%台を越えており、教育学部、工学部、教養部が70%台の満足度となっている。(工短、医短については、回答者が少ないため省略)

しかし、満足度は個人の期待感により異なることを考慮する必要があると思われる。

なお、検索結果に満足しない24.8% (183人) にその理由を聞いたところ、使い方が分かりにくい、難しい等操作方法に関するものがほとんどであり、検索の結果に言及しているものが少なかった。

5. 開館時間についておたずねします

平日の開館時間 (20時)、土曜日の開館時間 (9時～12時) 及び日曜日開館の希望について聞いた。

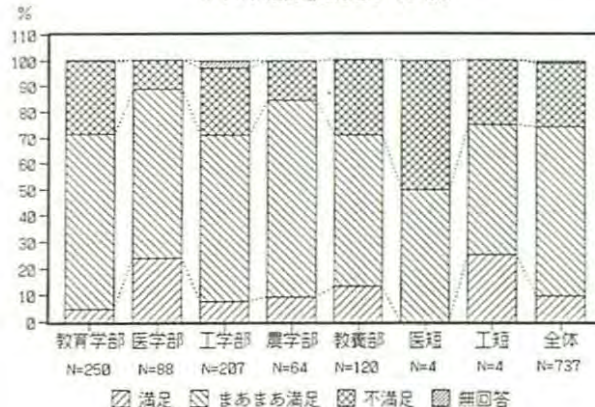
1) 平日の開館時間について

全体で81.2%の人が「現状でよい」と回答し、部局別では教育学部の85.9%が最も高く、医学部の61.7%が最も低かった。

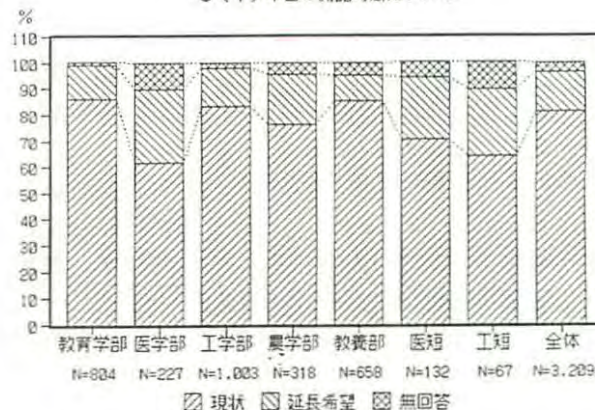
次に、15.2%の人が「開館時間の延長を希望する」と回答している。部局別の内訳は、次のとおりである。

医学28.2% 工短25.4% 医短23.5% 農学19.2%
工学14.7% 教育12.8% 教養 9.7% 全体15.2%

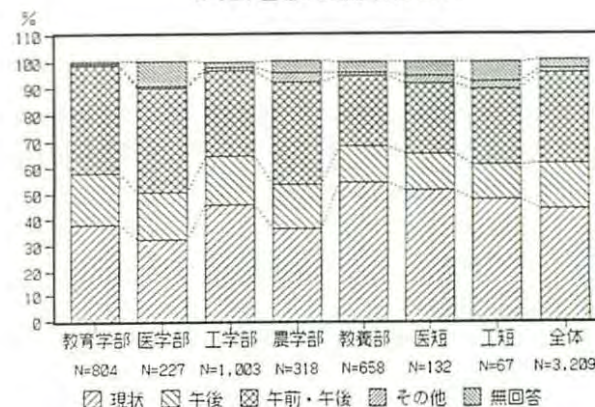
4 (4) 検索結果はどうでしたか



5 (1) 平日の開館時間について



5 (2) 土曜日の開館時間について



分館の利用者である医学部の医学系、本館の利用者である工短のそれぞれの特殊性が表われていると思われる。なお、延長時間の希望は、午後9時までが最も多く、次いで10時、12時であり、一昼夜(24時間)の希望もあった。

2) 週休二日制以降の土曜日の開館時間について

全体で44.2%の者が「現状でよい」と回答し、「午後開館してほしい」とした者が17.4%であり、「午前・午後とも開館してほしい」と回答した者が33.9%であった。「午後開館してほしい」を部局別にみると次のとおりである。

教育19.7% 工学18.5% 医学18.1% 農学17.0%
教養13.8% 医短13.6% 工短13.4% 全体17.4%

午前開館を午後開館に変更する希望は低率であったと読みとれる。次に「午前・午後とも開館してほしい」を部局別にみると次のとおりである。

教育40.5% 医学39.2% 農学38.4% 工学32.1%
工短28.4% 医短26.5% 教養26.4% 全体33.9%

3) 日曜日及び祝日に開館した場合は、どのくらい利用しますか

最も高かったのは、「時々利用する」48.1%であり、次いで「全く利用しない」42.1%、「利用する」6.3%であった。

およそ、10人中4人は、全く利用しないと答えており、5人が時々利用し、1人弱が利用すると答えていることから、日曜・祝日の開館は、積極的には望まれていないと思われる。

「利用する」と「時々利用する」を合わせた学部別の内訳は次のとおりである。

医学66.9% 教育66.3% 農学58.8% 工学49.3%
工短46.2% 医短46.2% 教養45.9% 全体54.9%

なかでも、医学部院生87.2%、農学部院生71.5%、工学部院生55%であり、学生に較べおおむね高率であった。

6. 貸出冊数・期間についておたずねします

1) 貸出冊数について

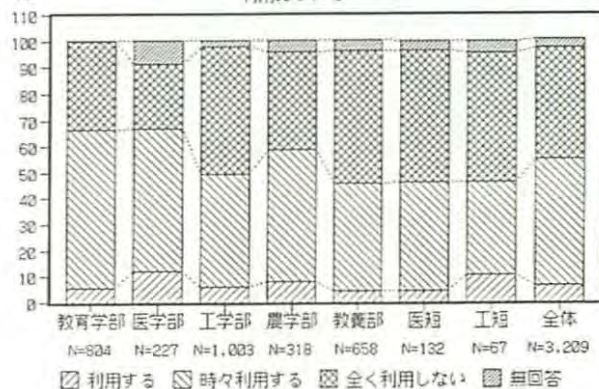
全体では、91.4%が「現状でよい」と答えており、部局別、学生・院生別(82.6~94.9%)でも余り差がみられなかった。

「変更を希望する」は、5.0%で、医短11.4%が高く、他部局は、3~6%にとどまった。

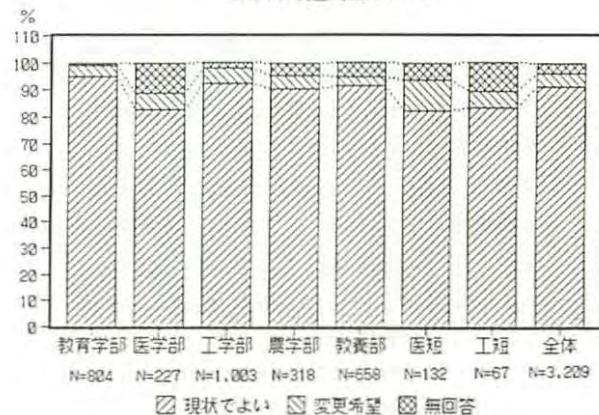
2) 貸出期間について

全体では、86.0%が「現状でよい」と答えており、部局別、学生・院生別(89.2~71.2%)でも余り差がみられなかった。

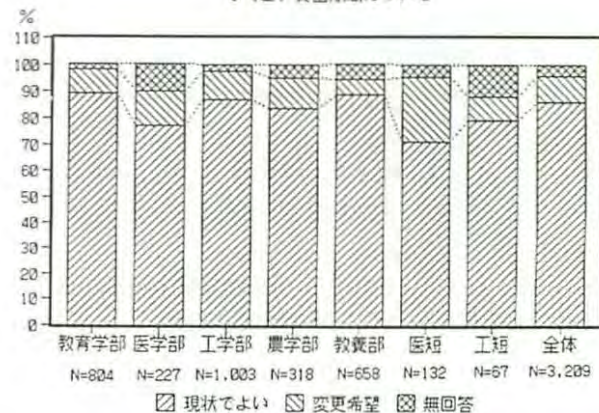
5(3) 日曜日・祝日に開館した場合の利用について



6(1) 貸出冊数について



6(2) 貸出期間について



「変更を希望する」は、9.9%で医短24.2%が高く、他部局は、5～12%であった。

7. 閲覧環境についておたずねします

ここでは、本館、分館及び医短図書室の照明、冷房、暖房について「良い」「普通」「悪い」あるいは、「満足」「まあまあ満足」「不満足」「非常に不満足」の基準で評価を求めた。

1) 照明

本館では、「普通」48.7%、「良い」29.9%であり、合計で78.6%となったが、18.2%の人が「悪い」と評価している。10人中約2人が照明に不満を持っていることが読みとれる。

分館では、「良い」34.4%、「普通」39.6%であり、合計で74.0%となったが、15.4%の人が「悪い」と評価している。

2) 冷房

本館では、「満足」10.4%、「まあまあ満足」29.6%を合計すると40.0%の人が満足としている。これに対して「不満足」39.3%、「非常に不満足」17.3%を合わせた56.6%の人が不満足であると答えたことになり、10人中7人が、冷房に不満を持っているとみられる。

分館では、「満足」24.7%、「まあまあ満足」40.1%を合計すると64.8%の人が満足しており、「不満足」22.9%、「非常に不満足」3.1%を合わせた26.0%の人が不満足であると答えている。10人中、約6人が満足と答え、約3人が不満と答えており、本館に較べかなり良好であるとみることができる。

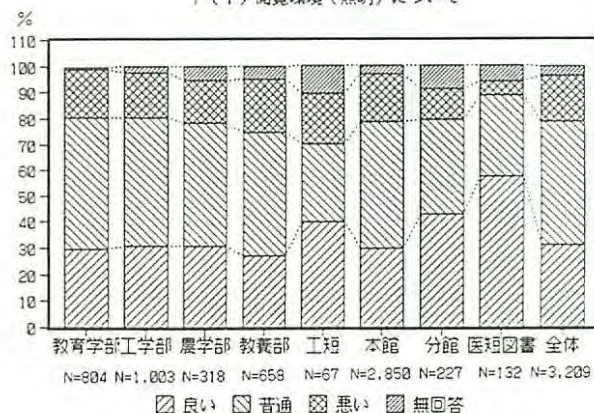
3) 暖房

本館では、「満足」15.5%と「まあまあ満足」58.5%を合計すると74%の人が満足しているが、「不満足」15.8%と「非常に不満足」4.4%を合計した20.2%の人が不満足であると答えている。10人中の2人が暖房に不満を持っていると読みとれる。

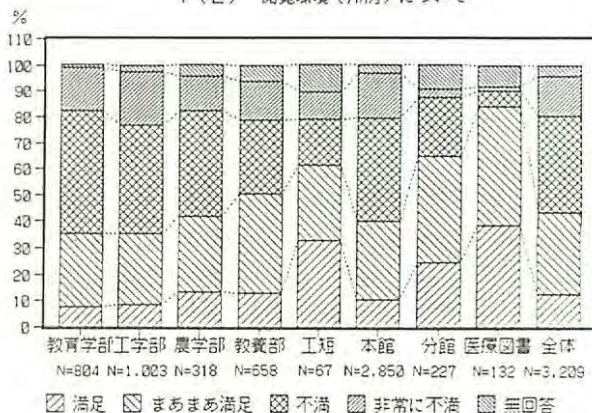
分館では、「満足」26.9%と「まあまあ満足」49.8%を合計すると76.7%の人が満足しているが、「不満足」9.7%と「非常に不満足」1.8%を合計した11.5%の人が不満足であると答えている。

照明・冷房・暖房は、節電対策の影響を受け易く、今回のアンケートの時期を考慮すれば、直前の冷房に対する満足度が色濃く反映されていると思われるが、本館の冷房に対する約60%の不満足は検討する余地が大きい。また今冬の暖房についても節電のあおりで決して良い状態とは思われない。

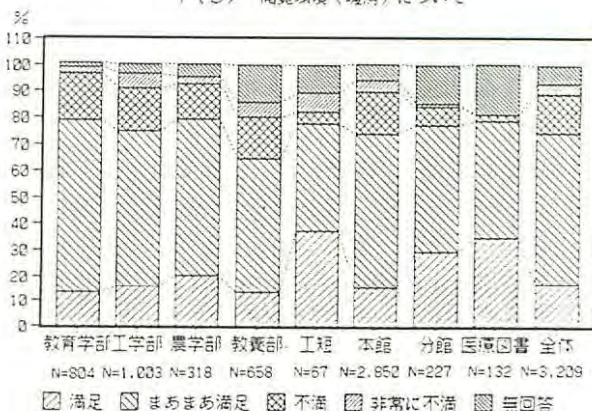
7(1) 閲覧環境(照明)について



7(2) 閲覧環境(冷房)について



7(3) 閲覧環境(暖房)について



8. 次の図書館サービスを知っていますか

ここでは、図書館のサービスについて、知っているかどうかを大きく OPAC、情報検索、視聴覚資料、館報（寸胴）に分けて聞いた。

「視聴覚資料」42.3%が最も高く、次いで「OPAC」22.3%、「情報検索」17.1%であった。最も低かったのは「館報」であった。これを個々にみてみると次のとおりである。

ア) OPAC (岐阜大学図書目録所在情報機械検索サービス)

「知っている」が22.3%と低率であった。館内の使われ方からみて、実際には OPAC を使っている、OPACという言葉に結びつかなかったことも低率の一因と考えられる。部局別では次のとおりである。

農学部27.4% 教育学部25.2% 工学部22.1% 教養部22.0%

医学部21.1% 医短 7.6% 工短 1.5% 全体22.3%

農学部院生40.1%、工学部院生38.3%、医学部院生25.5%であり、学生に比べ院生に知名度が高かった。

イ) 情報検索 (CD-ROM) (複数回答可)

「学術雑誌総合目録」他 9 の CD-ROM について聞いた。

全体で回答のなかった人は88.9%であり、回答者1人当たりの回答率は1.54であった。

種類別では、「学総目」4.0%、「MEDLINE」3.0%、「現代用語の基礎知識」2.7%、「医学中央雑誌」1.9%、「朝日新聞」1.0%、「CO-WORD」1.0%、「電子広辞苑」0.9%等、全てが5%以下という低い知名度であった。

これらを部局別にみると、「学総目」が農学部10.7%、「MEDLINE」が医学部22.5%、「現代用語の基礎知識」が農学部3.5%、「医学中央雑誌」が医学部17.6%で割合高かった。なかでも、「MEDLINE」の医学部院生70.2%、「医学中央雑誌」の医学部院生40.4%が高率であったことが目立っている。

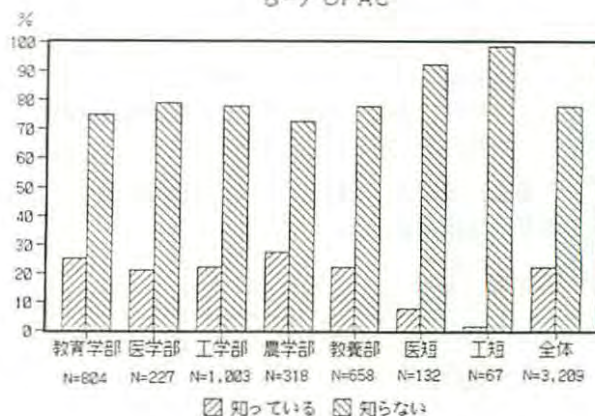
ウ) 視聴覚資料 (複数回答可)

全体で回答のなかった人は、76.8%であり、回答者1人当たりの回答率は1.82であった。

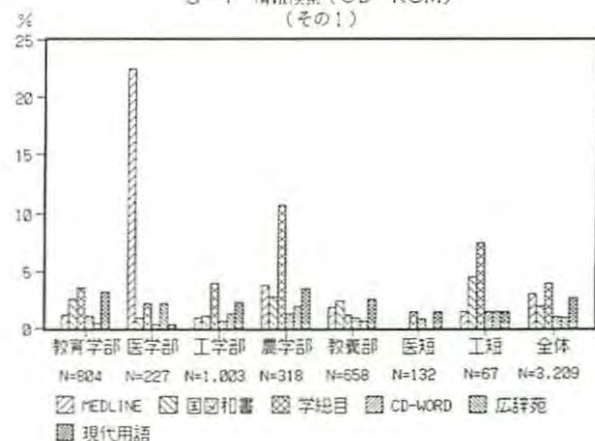
種類別では、「映画ビデオ (語学練習用各種)」17.6%をトップに「語学用ビデオ各種」6.4%、「スポーツビデオ各種」6.3%、「教育ビデオ」5.9%、「放送大学ビデオ」3.0%、「NHK ビデオ」3.0%と続いた。映画ビデオ以外は、1桁の知名度で低率であった。

これらを部局別にみると、「映画ビデオ」が農学部23.3%、「語学用ビデオ」が教育学部9.3%、「ス

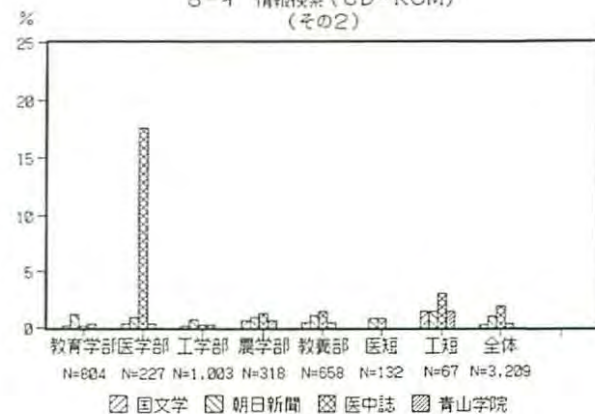
8-7 OPAC



8-イ 情報検索 (CD-ROM) (その1)



8-イ 情報検索 (CD-ROM) (その2)



「スポーツビデオ」が工短10.4%,「教育ビデオ」農学部7.5%,「放送大学ビデオ」が医短4.5%,「NHKビデオ」が農学部4.4%で高かった。

エ) 館報「寸胴」

「知っている」と答えた人は、全体でわずか6.0%と非常に低率であった。部局別にみると次のとおりである。

農学12.3% 医学 9.7% 教育 6.1% 工学 6.0%

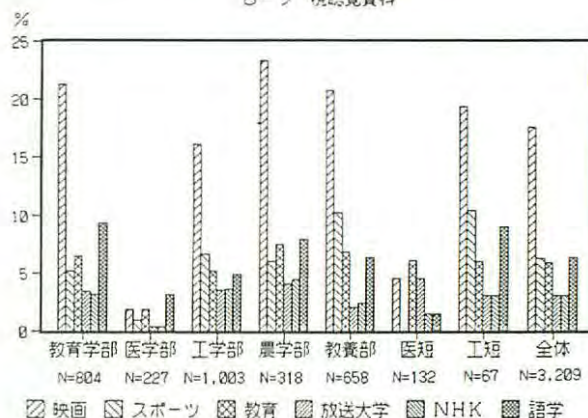
医短 4.5% 教養 2.6% 医短 2.3% 全体 6.0%

館報は現在、学生一人一人に配布しないで、館内のカウンター等に置き、来館者に限ったことも低率となった要因と考えられるが、内容のPR等も含め効率的な配布方法の検討が残されていると思われる。

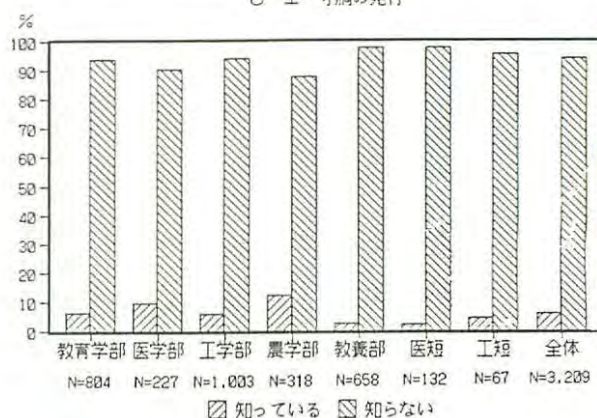
関係部局教職員の方々の御協力により、今回、学生・院生を対象とした図書館利用アンケートを実施できたことをお礼申し上げます。

紙数の都合で、アンケートの学部、学年、学生・大学院生別の集計結果を全部掲載することができませんでしたが、今後に向けて、さらにデータの解析を進め、その結果及び貴重な意見を参考に、図書館の運営に、また図書館サービスの改善・充実に反映させていきたいと思ひます。

8-7 視聴覚資料



8-8 寸胴の発行



資料保存検討委員会では、資料保存対策として次の作業を行った。

- ① ウェブスター：アメリカ英語辞書コレクション (108冊、特別閲覧室内配架) のための中性紙による保存箱を作製した。これは、埃や紫外線等の環境による劣化要因や、取り扱いに伴う傷みから資料を保護し、酸性紙による資料の劣化を遅らせるためのものである。
- ② 虫害対策として、特別資料室内、岩田文庫及び医学部分館所蔵の各和装本へのナフタリンペーパー17,000枚の挿入(計16,197冊)を行った。

1994年度 購入雑誌変更リスト

〈新規購入雑誌〉

誌名	配架	誌名	配架
医療と福祉	医短大	Expert nurse. 学生版	医短大
インターナショナル ナーシング レビュー	医短大	Hert nursing	医短大
科学	養科学	Ope nursing	医短大
科学朝日	養科学	Pharm tech Japan	病薬剤
看護教育	医短成	UNIX マガジン	情報セ
看護研究	医短成		
看護展望	医短老	Acta dermato-venereologica	医皮膚
季刊外食産業研究	農農営	Acta neurochirurgica	医脳外
技術教育研究	教家政	Aggressive behavior	教心理
月刊高齢社会	医短大	Annales de l'institut henri poincare. physique theorique	
スキージャーナル	医短体		養数学
現代化学	医短大	Annals of emergency medicine	医分館
視聴覚教育研究	教C R	British journal for the philosophy science	養科学
週間保健衛生ニュース	医短老	Cardiovascular research	医分館
周産期医学	医短大	Current contents on diskette with abstracts.	
小児の精神と神経	医短大	agriculture, biology & environmental sciences	農利用
実験医学	医皮膚	Current contents on diskette with abstracts.	
生物科学	養科学	life science	農利用
総合リハビリテーション	医短大	Current contents on diskette. engineering,	
ダンスマガジン	養保体	technology & applied sciences	農高分
中国現代小説	養中語	Curriculum journal	教英語
朝鮮日報	散読室	Cutus	医皮膚
デーリィマン	農農営	Ecological modelling	流環研
日経サイエンス	医短大	Ecology abstracts	流環研
日本教科教育学会誌	教C R	European journal of applied mathematics	教数学
年報：科学，技術，社会	養科学	Experimental thermal and fluid science	工機械
農村計画学会誌	農農計	Farming Japan	農農営
比較教育学研究	教C R	Health values	医分館
ひと	教教育	Hispanic American historical review: HAHR	養歴史
復印報刊資料：語源文字学	養中語	International journal of damage mechanics	工土木
復印報刊資料：中国現代当代文学研究	養中語	International journal of urban and regional research	
復印報刊資料：中国古代近代文学研究	養中語		養経済
文化財の虫菌害	図総記	Isis	養科学
北京晩報	養中語	Japanese journal of clinical oncology	医分館
法学セミナー	医短大	Journal for general philosophy of science	養科学
放送教育研究	教C R	Journal of algebraic combinatorics	工共通
保健婦雑誌	医短老	Journal of algebraic geometry	教数学
ミクロスコピア	医短基	Journal of algorithms	工共通
理科教室	養科学	Journal of cardiovascular pharmacology	保健セ
梁塵：研究と資料	教国文	Journal of glaucoma	医眼科
臨床評価	医分館	Journal of neuro-oncology	医脳外
Emergency nursing	医短大	Journal of pediatric nursing	医短大

〈新規購入雑誌〉

誌名	配架
Journal of school health	教体育
Journal of vascular surgery	医分館
K-theory	養数学
Mathematica journal	養化学
Mathematical systems theory	工共通
Medical electron microscopy	医皮膚
Midwifery	医短大
Mir muzeja	教家政
Monthly notices of royal astronomical society	養物理
Nashe maspedie	養物理
Oncogene	医病2
PCI journal	工土木
Pediatric dermatology	医皮膚
Philosophy of science	養科学
Proceedings of the London mathematical society : ser. 3	工共通
Russian heritage	教家政
Tempo	図散読
Transportation review	工土木
Transportation	工土木
Veterinary surgery	農家外
Zur wirtschaftlichen und sozialen Lage in den neuen Bundesländern	教地理
Zygote	養生物

〈購入中止雑誌〉

科学と薬学の教室	病薬剤
教育美術	教美術
クリニカル ファーマシー	病薬剤
月刊細胞	医皮膚
月刊スキー グラフィック	養保体
月刊バレーボール	養保体
国民生活	教家政
国民生活研究	教家政
細胞工学	医皮膚
森林立地	図林学
人工臓器	医分館
スキー ジャーナル	養保体
世論調査	教家政
たしかな目	教家政
日本医事新報	医寄生
日本家政学会誌	教家政
日本臨床	医病2
農業と経済	教家政

誌名	配架
農村生活研究	教家政
別冊サッカー マガジン	養保体
別冊スキー ジャーナル	養保体
American sociological review	教哲学
Applied numerical mathematics	図精工
Biology of reproduction	医分館
Clinical and experimental immunology	医寄生
Communications in mathematical physics	教数学
Economic and social review	養歴史
Electrochimica acta	図化学
English studies	養英語
Gastrointestinal endoscopy	保健セ
International journal of fracture	図機械
Irish economic and social history	養歴史
Irish historical studies	養歴史
Journal of composite materials	図理工
Journal of home economics	教家政
Journal of pharmacokinetics and biopharmaceutics	病薬剤
Journal of Soviet mathematics	教数学
Journal of the royal statistical society. B	工情報
Medium aevum	養英語
Neuroendocrinology	医内3
New England journal of medicine	病輸血
Notices of American mathematical society	工共通
Saotair	養歴史
Scandinavian journal of urology and nephrology. + Supple.	医泌尿
Scotish historical review	養歴史
Tectonophysics	教地学
Transportation research record	図土木
Weed abstracts	図二次
Zeitschrift für kardiologie	医分館
Zentralblatt rechtsmedizin	医法医
Cornell Veterinarian (廃刊)	図畜産
Dairy situation and outlook (廃刊)	農農営
Deutsche Literaturzeitung für Kritik (廃刊)	養独語
Ornicar? (廃刊)	医分館
Soil and water conservation news (廃刊)	図農学

図書館員から一言

宮崎 直昭

医学部分館で雑誌の受入業務を担当しています。毎日配達されてくる新着雑誌はその日のうちにチェックインを完了して利用者みなさんに少しでも早く提供できるように努めていますが、何らかの事故により欠号・未着が発生し、ご迷惑をおかけする場合があります。気が付いた時点で取次書店にクレームしていますが、この場をお借りして利用者みなさんのご理解をお願い申し上げます。なお、チェックインが済んだ新着雑誌は、OPACで即時に検索できますので、新着状況のチェックにぜひOPACをご利用下さい。(みやざき なおあき：医学部分館図書係情報処理主任)



加藤 妙子

整理第一係で、本の受付をしています。真新しい本から古書に至るまで、本が私の手の中でバラッパッと、めくられた瞬間、愛読しているかのように感じ、自分を高めてくれるように思わせてくれます。本に縁遠かった私に、本を身近に感じさせてくれたこの仕事、何事も勉強、人間死ぬまで勉強だとよく耳にする言葉、せっかく大学に働かせてもらっているのですから、何か一つ自分を向上させるものを得たいと思います。皆さん身近にある図書館を勉学、教養のために大いに利用して下さい。お待ちしております。(かとう たえこ：整理第一係)



人事異動 平成5年6月～12月

(新任)

11. 1 医学部分館長 岩田弘敏(医学部教授)

(退任)

10. 31 医学部分館長 岡 伸光(医学部教授)

お知らせ

・明治期刊行図書マイクロ版集成 索引CD-ROMのご案内

本館に、「国立国会図書館蔵 明治期刊行図書マイクロ版集成」の索引CD-ROMが入荷しました。明治期に刊行された図書、11万点・16万冊の総索引で、書誌

データに表紙の画像データが付け加えてあります。利用される方は参考調査係にお申し込みください。

休館日のご案内 平成6年6月下旬まで

次のように休館日を予定しています。

- ・毎月第二火曜日
 - ・3月の土曜日
 - ・4月2日(土)、4月9日(土)
- 附属図書館では次の日も休館日となります。
- ・3月25日(金) 卒業式・学位授与式の日
 - ・4月7日(木) 入学式

次のように夜間開館停止を予定しています。

- ・附属図書館 3月1日(火)～4月8日(金)

*図書館の案内・掲示に注意して下さい。

岐阜大学附属図書館報「寸胴」第12号 1994年2月28日

編集 委員長：梶山雅史 委員：百町満朗、荻 信隆、山崎捨夫、永田 拓、溝口敏博、中齋二三博、村上喜廣

発行 岐阜大学附属図書館

〒501-11 岐阜市柳戸1番1 ☎0582-30-1111